

1 研究主題及び研究仮説について

(1) 研究主題

小中9年間を通してキャリア発達を促すカリキュラムの在り方  
～開発と実践, 評価を通して～

(2) 主題設定の理由

本校区におけるキャリア教育に関して、以下のような児童生徒の課題が見られるため、本主題を設定した。

- ・自己肯定感や思いやりの心が十分に育っていないため、不登校生徒が増加してきている。
- ・学校での学習と自らの将来や社会との関連を十分に認識していないため、学習意欲が低く学力の定着が不十分である。また、課題発見・解決学習の方法や思考力なども十分に身につけていない。
- ・将来を見通し、継続して粘り強く努力する力が弱い。

(3) 研究仮説

キャリア発達の視点で、教育活動を充実させれば、江田島中学校区の「15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を育成できるであろう。

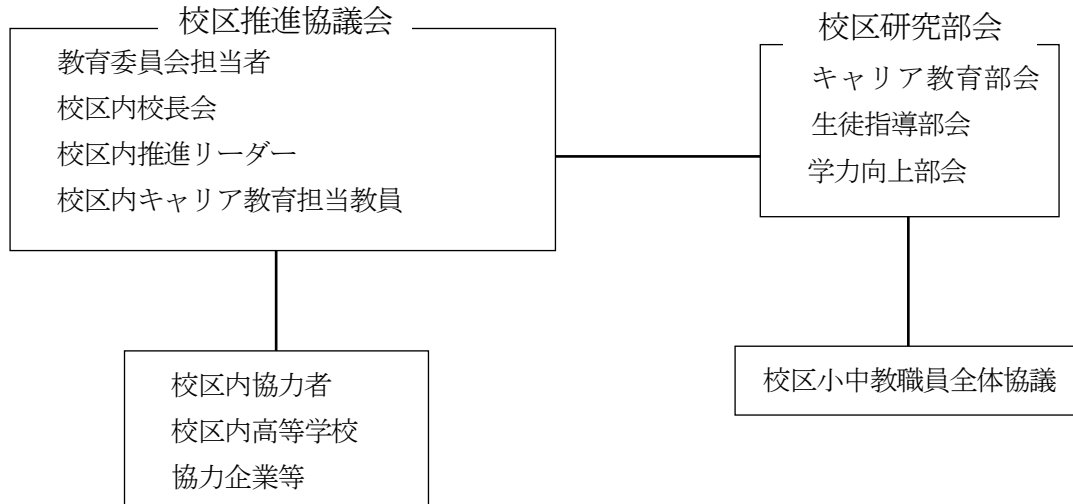
2 研究内容

小中9年間の特別活動、総合的な学習の時間におけるキャリア教育の教育課程の作成を行い、充実を図る。全教科の授業において、育てたい資質・能力の育成を図る。評価については、生徒・教職員へのアンケートやポートフォリオ、ルーブリック、学力テストなどを通じて行う。

(1) 検証の指標

項目	具体的な取組の内容			
	指標	達成目標	検証時期	検証方法
成果指標	人間関係形成・社会形成能力	自分の考えを伝えるとともに、他者の意見も聴きながら協働して何事にも取り組むことができる。	8, 12, 2月	友達と共同して物事に取り組む児童生徒（自己評価アンケート）
	自己理解・自己管理能力	自分のよさに気付き、何事にも自分から進んで取り組むことができる。	8, 12, 2月	自分の長所、短所を理解している児童生徒（自己評価アンケート）
	課題対応能力	課題を発見し、適切な解決方法を工夫し取り組むことができる。	8, 12, 2月	課題発見・解決力を身に付けている児童生徒（ポートフォリオ）
	キャリアプランニング能力	将来に向けた夢や目標を持ち、達成に向けた計画を見通すことができる。	8, 12, 2月	夢や目標を持ち、達成する方法を理解している児童生徒（自己評価アンケート）

(2) 実施体制



(3) キャリア教育推進協議会の計画

回	月	内容
第1回	4	計画の立案
第2回	8	取組の実施状況の確認
第3回	1 2	取組の実施状況の確認
第4回	2	今年度の成果と課題, 次年度の取組の整理

(4) 成果の普及方法

- ・キャリア教育実践の手引きによる研修会を実施（江田島市内の他の中学校区等）する。
- ・ホームページ掲載などにより，他の市町への情報提供を行う。